



上津江

Kamitsue



楽しく運動 一日でも長く自宅で暮らそう

4月22日、川原自治会センターで「みんな元気会」が開催された。この会は「仲間づくりをしながらみんなで楽しく体を動かし、一日でも長く自宅生活を楽しんでほしい」という主旨で、川原地区民生委員と福祉委員が昨年からの毎月実施しているもの。今回は10人ほどが参加し、講師を務めた日田市南部地域包括センター職員と、手足や体を使った運動を楽しんだ。



博多ラーメンで子供たちを激励

3月30日、令和2年7月豪雨災害やコロナ禍を経験した子供たちに「学校生活で良い思い出を作ってあげたい」という思いから、「激励・元気プロジェクト」を企画した博多一幸舎がキッチンカーで津江小・中学校に来校。児童・生徒たちに自慢の博多ラーメンを振る舞った。たくさんの子供たちが何度も列に並び、なかなか食べる機会のない博多の味を堪能した。

天瀬

Amagase



笑顔爽やかに

4月10日に開催された「天瀬ふれあいウォーキングin塚田」に、町内外から多くの人々が参加した。道端に咲くチューリップや菜の花といった華やかな春の景観に触れながら、約4kmのコースを楽しんだ。会場となった塚田コミュニティセンターでは、女性オカリナグループ「アナベル」による演奏や山崎順慈さんによるピアノ演奏も披露され、たくさんの笑顔あふれる春のひとときとなった。



復旧・復興に願いを込めて

4月8日、温泉街を流れる玖珠川河川敷で「天ヶ瀬温泉まつり温泉神事」が開催された。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によって、大原神社の宮司による神事のみが執り行われた。新型コロナウイルス感染症がいち早く終息し、多くの観光客が癒しを求めて天ヶ瀬温泉を訪れてくれるようにと、温泉街の復旧・復興に願いを込めて玉串を奉納していた。



大山

Oyama



地域の安全は私たちが守ります！

4月6日から15日までの「春の全国交通安全運動」期間に合わせて、おおよま烏宿自治会が女性ドライバーによる街頭啓発を行った。期間中、毎日2人ずつ交代で街頭に立ち、交通量の多いひびきトンネル近くで啓発活動を行ったり、送迎バスに乗り込む小学生に声掛けをしたりするなど、地域の女性が協力して道行く人たちに交通安全を呼び掛けていた。



大山ダムカードのリニューアル

4月、大山ダムの管理開始10周年を記念して、ダム管理所がダムカード(広報用に配布するカード式パンフレット)を4年ぶりにリニューアル！インパクトがあったこれまでの写真とは対照的に、今回のダムカードは雪化粧を施したダム堤体を上空から撮影した美しい一枚となっている。新しくなったダムカードを求めに大山ダムに足を運んで、ダム周辺の清らかな自然や水資源の大切さを感じてみては。



大山町の農業の発展に向けて

4月20日、大山町青年農業研究会が大山公民館で令和3年度の総会を開催した。コロナ禍で一部オンラインも利用したが、対面での総会開催は3年ぶり。「これまでの慣例や当たり前の常識にとらわれることなく、多様な価値観でお互いの考え方を認め合える組織でありたい」との思いから、今後の大山町の農業を維持・発展させるべく自由な意見が交わされた。



小さな種駒 大きな期待

4月9日、田来原で椎茸の駒打ちが行われた。老松生産森林組合と体験を希望する市内在住の幼児を含む家族連れなど、約30人が参加。切り出したクヌギに種駒を植え込む穴をドリルで開ける作業から、ほだ木の積み上げまでを体験した。約5千個の穴開け作業と駒打ちに汗を流し、重いほだ木が積み上がると、参加者から大きな歓声が沸き起こった。